

## 中国のテーマパーク事情

株式会社クララオンライン  
コンサルティングチーム

### <要約と結論>

中国における 2017 年の国内延べ旅行者数は 50 億人を越え、消費額も 4.5 兆元を上回った。海外への延べ出国者数は 1.4 億人で、その 9 割が旅行目的となっている。2018 年も旅行市場は順調に発展する見通しで、国内延べ旅行者数は 55 億人を突破すると期待される。

国内の旅行市場が活気に沸く中国では、ホテルが約 2 万軒、旅行会社も全国に 3 万社近くある。政府が有名観光地をランク付けして管理しており、最もランクの高い 5A 級は約 250 カ所、4A 級は約 3,000 カ所ある。他にも党の革命史跡や長期休暇・バカンス向けの国家認定施設が全国各地にある。

旅行市場が急拡大する背景には、社会全体の経済成長はもちろんのこと、1990 年代～2000 年代生まれの若者が消費を担うようになったことが挙げられる。人口メリットを享受できる今後 20 年間で旅行市場の黄金期との見方もある。

旅行市場のキーワードの一つである家族旅行では、テーマパークが人気の旅行先となっている。全国には大小 2,500 ものテーマパークがあるという。政府は 2014 年以降、テーマパークの建設を積極的に支援しており、2017 年には大型テーマパークへの外資制限を撤廃した。2015 年～2020 年の 5 年間で、全国で新たに 64 カ所のテーマパークがオープンする予定だ。

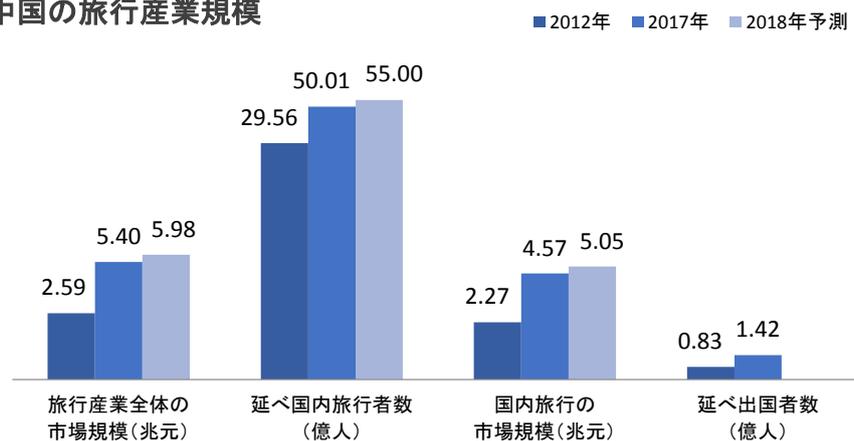
政府は海外からの投資を歓迎する一方で、国産テーマパークの増加を推し進めており、とりわけデジタル技術や VR といったハイテクの導入を奨励している。近年は、人気 IP やハイテク技術を駆使したコンテンツ体験を売り物にする第 3 世代と呼ばれるテーマパークが増えている。

代表的なところでは上海ディズニーランドや北京に建設中のユニバーサル・スタジオが挙げられるが、中国の映画会社が自社 IP を生かした“映画村”を各地にオープンしたり、既存のパークが「熊出没」や「美人魚」といった人気国産 IP を使ったアトラクションを導入したりするケースがある。また貴州省には VR・AR に特化した大型テーマパークが試験営業を始めており、街中にも小規模な VR・AR のアミューズメント施設が登場している。

## 1. 急拡大する中国の旅行市場

国家旅游局のまとめによると 2017 年の国内の延べ旅行者数は前年比 12.8%増の 50.01 億人で、国内旅行消費額は同 15.9%増の 4 兆 5,661 億元だった。海外への延べ出国者数は同 5.6%増の 1 億 4,273 万人で、うちおよそ 9 割を占める 1 億 2,900 万人が旅行目的での出国だった。2018 年の国内の延べ旅行者数は 55 億人に達する見通しで、旅行産業全体の市場規模は 6 兆元に迫ると期待される。

### 中国の旅行産業規模



Source: 国家旅游局 2018年全国旅游工作报告

現在中国にはホテルがおよそ 1.9 万軒あると言われ、旅行会社は全国に 2.79 万社ある。政府が認定する観光地は 3 万カ所以上で、うちランクが最も高い 5A 級が 249 カ所、4A 級が 3,034 カ所ある。

さらに世界遺産が 52、旅行モデル地区に認定されたエリアが 506、党の革命史跡を訪ねるいわゆる“紅色旅游”向け観光地が 300 ほどある。他にも長期休暇やバカンスで滞在するための国家認定施設やモデル都市が複数指定されている。

中国の旅行市場の好調な成長を支える柱の一つが、1990 年代～2000 年代生まれの若者世代だ。中国の人口は 2030 年にピークを迎えると予想されており、旅行市場でも人口メリットを享受できる今後 20 年間で成長の黄金期との見方は強い。特に今後 10 年間は国内・海外を問わず、「家族旅行、近距離旅行、バカンス」の 3 つが重要なキーワードだという。

## 2. 中国のテーマパーク事情

家族旅行の行き先として人気のテーマパークだが、現在中国には大小 2,500 カ所もあるといわれる(うち総工費 5,000 万元以上は約 300 カ所)。国内の大手テーマパーク運営会社は、複数のテーマパークやレジャー施設を手掛けているのが一般的で、パーク周辺のホテル、ショッピングモール、マンション等の開発・運営をあわせて行っているケースも多い。

### 国内の主なテーマパーク運営会社の状況

| 運営会社 | 主なテーマパーク                                                                                                                             | 所在地              | 延べ来場者数(万人) |       |       |       |
|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|------------|-------|-------|-------|
|      |                                                                                                                                      |                  | 2017年      | 2016年 | 2015年 | 2014年 |
| 華僑城  | 錦繡中華<br>中国民俗文化村<br>世界之窗<br>歡樂谷<br>東部華僑城 等                                                                                            | 深セン、北京、上海、成都、武漢等 | 3,500      | 3,456 | 3,300 | 3,072 |
| 宋城演芸 | 杭州宋城景区<br>杭州歡樂園景区<br>杭州樂園<br>杭州浪浪浪水公園<br>爛苹果樂園景区<br>三亞宋城旅遊区 等                                                                        | 杭州、三亜、麗江等        | 3,300      | 3,000 | 2,234 | 1,456 |
| 長隆集團 | 長隆歡樂世界<br>長隆國際大馬戲<br>香江野生動物世界<br>長隆水上樂園<br>広州鱷魚公園 等                                                                                  | 広州、珠海            | 3,103      | 2,736 | 1,600 | 1,600 |
| 海昌控股 | 大連老虎灘極地海洋世界<br>金石癡現王国<br>青島極地海洋世界<br>成都極地海洋世界<br>天津極地海洋世界<br>重慶加勒比海水公園<br>武漢極地海洋世界<br>大連老虎灘漁人碼頭<br>煙台漁人碼頭 等                          | 大連、青島、煙台、重慶、武漢等  | —          | —     | 1,231 | 1,149 |
| 華強方特 | 蕪湖方特歡樂世界<br>蕪湖方特夢幻王国<br>沈陽方特歡樂世界<br>青島方特夢幻王国<br>株洲方特歡樂世界<br>鄭州方特歡樂世界<br>泰安方特歡樂世界<br>汕頭方特歡樂世界<br>重慶金源方特科幻公園<br>廈門方特夢幻王国<br>天津方特歡樂世界 等 | 蕪湖、沈陽、青島、鄭州、株洲等  | 3,800      | 3,000 | 2,309 | 911   |

出典：中国産業情報「2018年中国主题公园行业发展现状及发展趋势分析」にクララオンラインが加筆

2014年以降、政府はテーマパークの建設に対し積極的な支援を表明している。2015～2020年に新規建設が計画されているテーマパークは64カ所で、総投資額は238億ドルを越える見込まれている。

2018年に開業予定の主なテーマパーク

| 名称               | 敷地面積         | 投資額    | 開園予定          | 類別* |
|------------------|--------------|--------|---------------|-----|
| 長沙恒大童世界          | 約60万平米       | 約500億元 | 2018年中        | 特大型 |
| 南京万達茂東方文化主題樂園    | 約4万平米(建築面積)  | 約150億元 | 2018年6月       | 特大型 |
| 海南陵水富力海洋歡樂世界海洋公園 | 約20万平米       | 約150億元 | 2018年中        | 特大型 |
| 建業・華誼兄弟電影小鎮      | 約20万平米       | 約150億元 | 2018年末～2019年初 | 特大型 |
| 南寧方特東盟神画         | 約10万平米       | —      | 2018年下半年      | 大型  |
| 三亜亜特蘭蒂斯水世界       | 約8万平米        | 約110億元 | 2018年5月       | 大型  |
| 上海海昌海洋公園         | 約19万平米(建築面積) | 約30億元  | 2018年下半年      | 大型  |
| 寧波大目湾水上樂園        | 約4万平米        | 約4億元   | 2018年中        | 中小型 |
| 青島万達樂園           | 約8万平米(建築面積)  | —      | 2018年4月       | 中小型 |

環球旅訊 <http://www.traveldaily.cn/article/122780>より

\*特大型:敷地面積20万平米以上または総投資額50億元以上、大型:敷地面積6～20万平米または総投資額15～50億元、中小型:敷地面積2～6万平米または総投資額2～15億元 (国家發展改革委員會「关于规范主题公园建设发展的指导意见」发改社会规〔2018〕400号)

また2017年に発表した「外商投資産業指導目録(2017年修正版)」で、それまで外資による投資を制限していた大型テーマパークの建設・運営において、その制限を撤廃。広く外資の導入を受け入れる方針へと転換している。

このように海外からの投資を歓迎する一方で、政府は地域の特色や歴史、中華文化の伝承を扱った国産テーマパークの発展にも積極的だ。テーマパークそのものの数を増やすことはもちろん、関連する旅行商品やグッズの企画開発等の周辺産業も重要だとして、総合的な発展を実現できるよう指導するとしている。とりわけ政府はテーマパークに科学技術をより多く取り入れるよう求めており、2018年3月に国家發展改革委員會が発表した指導意見(「关于规范主题公园建设发展的指导意见」)では、デジタル技術、シミュレーション、インターネット等のハイテク技術の利用を支援し、漫画・アニメ・ゲームにVRを組み合わせたテーマ



「关于规范主题公园建设发展的指导意见」

本レポートは、業界・企業に関する情報の提供を目的としたものであり、お客様の経営判断や購買、契約行為にあたってはお客様のご判断のもとに行っていただくようお願いいたします。本レポートは、クララオンラインが直接ご提供するという方法でのみ配布しておりますので、お問い合わせにつきましてはクララオンラインまでご連絡ください。本レポートのいかなる部分も、一切の権利は株式会社クララオンラインに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行うことを禁止いたします。なお本レポートに掲載されている第三者の企業名や商標、ロゴマークは個々の権利所有者に帰属します。また本レポートを日本国外で配布することは禁止いたします。

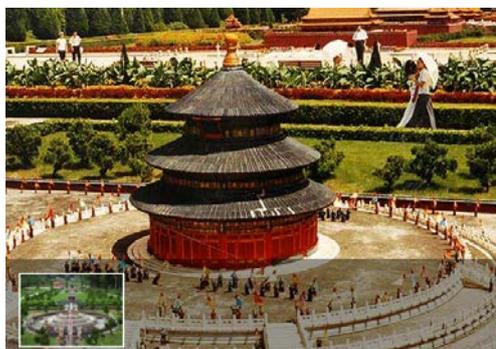
パークの建設を後押しする方針を示している。

#### 中国で営業・計画中の主な海外有名テーマパーク

| 名称                                   | 場所 | 開園予定       | 敷地面積                 |
|--------------------------------------|----|------------|----------------------|
| ディズニーランド<br>(迪士尼乐园)                  | 香港 | 2005年開園    | 126ヘクタール             |
|                                      | 上海 | 2016年開園    | 390ヘクタール             |
| ユニバーサル・スタジオ<br>(环球影城)                | 北京 | 2019～2021年 | 120ヘクタール             |
| シックスフラッグス・<br>グレート・アドベンチャー<br>(六旗乐园) | 嘉興 | 2019年      | 53.91ヘクタール<br>(第1期分) |
|                                      | 重慶 | 2020年      | —                    |
|                                      | 南京 | 2021年      | —                    |
| レゴランド<br>(乐高乐园)                      | 上海 | 2022年      | —                    |
| タイムワーナー・ドリームワークス<br>(时代华纳梦工场)        | 珠海 | —          | —                    |

環球旅迅 <http://www.traveldaily.cn/article/122780>より

もっとも中国のテーマパークの歴史は30年ほどしかない。最初期に誕生したテーマパークの一つが1989年秋に深センに開業した「錦繡中華(ミニチャイナ)」で、中国国内の名所旧跡や風景をミニチュア化して集めた公園だ。近隣には少数民族の文化歴史を楽しむ「中国民俗文化村」、世界の有名観光地のミニチュアを集めた「世界之窗」もあり、これら初期にできた景観観光型のテーマパークは第一世代と呼ばれる。



左：錦繡中華の園内。有名観光地のミニチュアを見て回る。右：北京の歓楽谷は屋外と屋内にアトラクションがある。

2000年代になると第二世代と呼ばれる、いわゆる遊園地タイプのテーマパークが全国に作られるようになる。代表的な遊園地「歡樂谷(ハッピーバレー)」は現在までに上海、北京、深セン、成都、武漢等にチェーン展開している。そして現在は“IP・コンテンツ体験”を売り物にした第三世代テーマパークの時代へと移り変わりつつある。

### 3. IP・コンテンツ体験型テーマパークとは

テーマパークが第三世代へと変化する背景には、前述したとおり旅行市場の成長を支える若者世代が来場者の中心になっていることが挙げられる。インターネット時代に生まれ、二次元文化に親しんできた彼らをリピート客として取り込むために、IP・コンテンツ体験型のテーマパークの開発が計画され、既存のテーマパークも次々とIP・コンテンツ体験型のアトラクションを導入しはじめている。

「IP」とは知的財産(主に著作権)を指し、一般的にはマンガやアニメ、映画等の人気タイトルやその登場キャラクター、著名なマスコットキャラクターを使うことを意味する。この数年、中国のエンターテインメント分野では“IPモノ”の人气が高く、日本や欧米の人气キャラクターを題材にしたオンラインゲームのリリースが相次いだり、様々なコラボ商品が販売されたりしている。



ドラゴンボールZのIPを使ったモバイルゲーム

第三世代テーマパークの代表格であるディズニーランドは、2016年6月のオープンから丸1年となる2017年6月に来場者数が1,100万人、2017年10月に2,700万人を



Hello Kitty 樂園。アトラクションやショーがある

突破した。来場者の65%が上海以外からの旅行者で、パークでの平均滞在時間は約10時間となっている。開業が待たれる北京のユニバーサル・スタジオは、オープン予定が前後しているものの、遅くとも2021年に開業するようだ。ほかにも浙江省安吉市には2015年にハロー・キティの「Hello Kitty 樂園」がオープンしている。



寧波の東方神画は神話を題材にしたショーが中心

これに対し中国の IP を使ったパークとしては、中国の神話を題材にしたテーマパーク「方特東方神画」が安徽省蕪湖市、山東省済南市、浙江省寧波市等にあるほか、建設中のものでは、西遊記を題材にしたパークの計画が江蘇省淮安市と山東省済南市で進んでいる。

他にも既存のテーマパークに IP の新エリアやアトラクションを追加する形で刷新を図っているケースもある。遼寧省大連市にある海を題材にしたテーマパーク「聖亜海洋世界」では、児童文学『大白鯨』シリーズの世界観を表現したアトラクションや商業施設を導入。同じく海を題材として全国に 10 カ所以上のパークを展開する「海昌海洋公園」は、2016 年に中国で大ヒットした国産映画『美人魚』と 2015 年から繰り返し上映されている幼児向け国産アニメ映画『摩爾莊園大電影 3』にまつわるアトラクションを導入した。

自社 IP を活用するケースもあり、例えば「方特東方神画」、「方特歡樂世界」など全国に 20 カ所余りのテーマパークを運営する華強方特は、グループが権利を持つ動画 IP『熊出没』を活用し、ファミリー層のリピートを狙っている。

また映画会社の華誼兄弟は自社が抱える映画 IP を活用して全国に“映画村”を開設。『非诚勿扰』、『集结号』、『太极』等の映画をイメージして古代中国や海外の街並みを再現しており、まるで映画の世界に入ったような感覚が楽しめるという。映画ファンを取り込むだけでなく、オンラインゲームとも連動し、大人も子供も楽しめる新しい商業モデルの構築に注力しており、2018 年だけで浙江省蘇州市や南京市などに 4 カ所がオープンする予定で、2020 年までに 30 カ所以上の建設を計画している。



「熊出没」の着ぐるみがお出迎え



映画の世界がそのままの「華誼兄弟電影小鎮」

そしてコンテンツ体験型としてVR・ARの導入が盛んになっており、これに特化したテーマパークもすでに登場している。貴州省貴陽市の「東方双龍科幻」は、ジェットコースター等をはじめとするVRアトラクション、VR映画館、ホログラム体験などが楽しめる。現在はまだ試験営業中のため8つのアトラクションしかないが、今後さらに7つが完成する予定だ。



敷地内にたくさんのパビリオンが並ぶ東方双龍科幻



上：北京にある身臨其境の直営店、下：浙江省の加盟店。他の加盟店もこのような雰囲気。

他方、テーマパークと名前が付いているものの、ゲームセンターと言ってもいいようなごく小規模のVR施設も街中に増加している。河南省鄭州市にある「头号玩家VR主題公園」は、市内の繁華街にある商業ビルのワンフロアに様々なVRゲームを揃えており、料金は1回券が10元、8種類・回数無制限券が58元と手ごろだ。また「身臨其境」は加盟店を募集する形で全国に30店舗以上を展開しており、ビルのワンフロアを使った大きな直営店もあれば、大学周辺の空き店舗を改装した小さな店もある。VRゴーグルとコントローラだけを使うVRゲームであれば、加盟料1万円(約16万円)から開業できるという。

- 本レポートに含まれる情報は一般的なご案内であり、包括的な内容であることを目的としておりません。また法律・条令の適用と影響は、具体的な状況によって大きく変化いたします。具体的な事業展開にあたってはクララオンライン コンサルティングサービスチームより御社の状況に特化したアドバイスをお求めになることをおすすめいたします。また本書の内容は2018年7月25日時点で編集されたものであり、その時点の法律及び情報、為替レートに基づいています。

本書はクララオンライン コンサルティングサービスチームにより作成されたものです。クララオンラインの中国、台湾、韓国、シンガポールなどアジア各国のインターネットコンサルティングサービスに関するお問い合わせは以下の連絡先までお気軽にご連絡ください。

asia@clara.ad.jp または +81(3)6704-0776